広報たかはし2月号（通巻196号）
■編集と発行（毎月15日発行）高梁市秘書広報課
■〒716-8501 岡山県高梁市松原通2043 電話0866(21)0210
■ホームページ https://www.city.takahashi.lg.jp/

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会など

○飲酒の影響で気分が高揚し、注意力が低下する。また、聴覚が鈍り、大きな声になりやすい。
○狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

○長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒などは、短時間の食事に比べて感染リスクが高まる。
○大人数、例えば５人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

○マスクをせずに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
○マスクなしでの感染は、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
○車やバスの車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

○狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
○寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

○仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
○休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

発熱や風邪の症状があるときは…「かかりつけ医」に相談！

風邪、インフルエンザ、そして新型コロナウイルス感染症の初期症状は、いずれも発熱や咳などです。
こうした症状があるときは、職場や学校へは行かず、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

発熱や咳などの症状が出た場合

かかりつけ医がいない

県ウェブサイトで探す
または
受診相談センターに電話で相談

かかりつけ医がいる

かかりつけ医に相談

かかりつけ医が、県の「診療・検査医療機関」でない場合は、紹介してもらえます。

受診の際は、必ず電話予約をし、マスクを着用して、なるべく公共交通機関以外の方法で来院してください。
また、付き添いはできるだけ少人数でお願いします。

新型コロナウイルス受診相談センター（備北保健所）☎(21) 2836 Ⓕ(22) 8098 平日午前９時～午後５時

土・日曜日、祝休日の午前８時～午後６時は☎086(226)7925 Ⓕ086(226)7957 夜間は☎086(226)7877 Ⓕ086(225)7283（受診案内のみ）

ちょっとひとこと

「月やあらぬ 春や昔の 春ならぬ～」（今夜の月はいつもの月と違うのか。今年の春は以前の春と違うのか）と始まる短歌は在原業平の作（伊勢物語）。さて今月号から、市民の皆さんに投稿していただいている俳句や短歌を紹介する場所が変わりました。より多くの方に見ていただけるようにと考えていますが、いかがでしょうか。（や）

人　口

	人口・世帯数（人・世帯）	前月比（人・世帯）
総人口	29,269	－38
男　性	14,253	－5
女　性	15,016	－33
世帯数	14,254	－26

（令和３年１月末現在・外国人含む）

高梁いんふぉ

市内の観光やイベントの情報・空き家情報などを発信するアプリです。また、災害時などの緊急情報も配信されます。

〔iPhone 用〕〔Android 用〕

UD FONT
PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
本紙は環境保全のため再生紙を使用しています。
声の広報